

# 愛媛県立 松山西高 同窓会報

# Way

平成 10 年 7 月 30 日発行  
発行所  
松山西高等学校同窓会  
松山市久万ノ台  
印刷所  
株式会社松栄印刷所

## 「西高がんばっていきましょい」



教 頭

武 井 基 次

私は五期生から十四期生までの九年間、本校で教員としての青春時代を過ごさせていただき、多くの先生方や生徒諸君から学ばせていただいた。

まず、三年の私文クラスの五期生を受け持たせていただいた。その後、数年が経過し、学年主任として生徒諸君に、「西高は十四期生が立て直せ。」と発破を掛ける役割をさせていただくまでの九年間であった。

九年後に再び本校に帰らせていただいた。一番うれしく思ったのは、校庭の樹木が大きく育って、学舎らしい環境になっていることである。二十五年の伝統の重みを感じている。

土が悪く、樹木がなかなか育たなかった当時の、西高を愛し、西高のために文字どおり命をかけて努力された先生方のお姿がまぶたに浮かぶ。毎日最後まで学校に残り、輪転機の原紙入りダンボール

を抱えて焼却場に運んでおられた、教務課長で本校校歌作詞者の故麻生耕三先生。

生徒にこびず、体を張って生徒の態度、言葉遣い、服装の乱れなどを指導しておられた、生徒課長の故高橋俊三先生。

生徒の学力・適性に合った進路をみごとに見つけ出すことはもちろんのこと、各種テスト結果を的確に分析なさった、進路の神様石丸博先生。

自分のホームルームの生徒全員、国立大学合格という偉業を達成した友近温壽先生。

自分のホームルームの生徒全員に、一年間無遅刻・無欠席を達成させた坂井良生先生。その他、教え上げればきりが無いほどの有能で熱心な先生方や、その指導にすなおに従った生徒諸君がこれまでの西高を支えてくださった。

このような皆さんと、現在の西高に学び、教える皆さんが一緒になって、声高らかに「西高がんばっていきましょい」と叫び、西高を今後ますます発展させていきたいものである。

## 西 高 と 私



三代校長

浅 木 一 幸

早いもので、私が西高を去ってから十余年が経った。昭和が平成となり、世の中の様子も私の在職中とは大いに様変わりした。しかし時たま、西高を訪れると、いつも何とも言えない懐かしさと、心の落ち着きを覚える。歳月の経過とともに、先生方も旧知の方が少なくなりましたが、それでもお会いする先生方が、校長先生をはじめとして温かく迎えて下さるので、心休まる思いがする。

卒業生の諸君とも、同窓会その他の機会にお会いして思い出話をよくする。その時々よく聞かされるのは、第一が集団走、第二に先生方の授業、そして部活動のことなのである。そういえば、私の在職中、

県内はもとより、全国各地より高校の先生方やPTAの方々が西高を視察に来られたが、その方たちが校内を見学されたあとの感想の中で、必ず異口同音に言われたのは、まず学校の環境のことであった。これほど緑に囲まれ、市街から離れて閑静で広々とした校地に恵まれ、実に羨ましい限りだということだった。次に驚かれたのは、運動場一杯に響き渡る生徒諸君の集団走の掛け声だった。ある県の先生は窓からビデオで撮影し、帰校したら自校の先生方に見せたいと感激された程であった。次は先生方の授業や部活動の熱心な指導ぶりであった。卒業生の方なら、誰もが鍛えられた思い出をお持ち

ちのことと思う。

私も在職中は、でき得るかぎり一日に少なくとも一度は、校内を一巡した後、屋上に上がり、運動場での元氣な掛け声を耳にし、つぎに校舎から聞こえてくる洗滌とした先生と生徒の質疑応答の大きな声を聴き、師弟同行という西高の校風のすばらしさを感じたものだった。

先日の新聞で、西高水泳部が総体初優勝との記事を見た。大変めでたい。新聞やテレビで西高の文字を見ると、自然に目がとまる。これからも文武両面での活躍を大いに期待したいものである。



# 回 想



岩崎安馬

松山西高校同窓会の皆さん、今日は。本当にお久しぶりです。お元気で、ご多忙の中、ますます御活躍のことと心からお喜び申し上げます。小生は、一昨年定年退職をしました。現在は、晴耕雨読の真似事をしながら、至って元氣にのんびりと暮らしております。

時折、当時の卒業生の皆さんに訪ねて貰ったり、また、電話を貰ったりしておりますが、こんな時やあとした時、当時の様々な事柄が澎湃と蘇り、懐かしさがこみ上げ、ノスタルジックな切ない思いになつたりしております。

小生は二期生ですから赴任したときには、既に教育活動に必要なソフト・ハード面の条件整備はほぼ完成しておりました。今思うに、清家校長先生をトップとする教職員皆さんが、まさに何一つ無い零からの事始めというハードで

サヴァイバルな草創の難業を切り開き、見事なスタート・ダッシュをされたのであります。あの衆目の一年間、心身のご苦労には計り知れないものがあつたらうと思ひます。

また、特に一期生の皆さんは、入学試験、入学式を借り家で行い、プレハブ校舎からの出発であつたが故に、我等が学校を創るんだという決意と夢と矜持をもつて頑張りました。いつも一期生だから範を垂れよと叱咤され、学校内外の大きな期待の重圧を受けながらも、強い責任感と使命感によつて克服したのであります。

まさに師弟一心同体・同行でありました。さらに、保護者からは温かい理解と力強い協力や支援がありました。

人格識見高邁な清家校長先生の透徹した指導性のもとにこそ三位一体となつた強力な教育が推進されたのでありま

しょう。そして、愛媛高校教育推進のブルドーザーとなり、指標になつて、松山西高校ここに在りの名を広く知らしめることになつたのであります。

小生が赴任したときには、プレハブ校舎の一部が卓球場として残っており、また、雨天時には、校庭の一部がぬかるみ靴が泥まみれになつたりして、建設途上の苦勞を垣間見たものでした。同期の先輩の先生が、「これはまさに西高開拓団だ」といった言葉が、今も強く印象に残っております。

「西高頑張つていきましょう」と校庭にこだまする意気軒昂の掛け声に象徴される文武両道という至難の業を、草創期の皆さんは見事な遂げたのであります。

時間を有効に使うとの零時限授業、正月三日からの補習授業、夜を徹してのプリント添削、テストの採点、ガリ版切り等、これらすべて生徒の皆さんとの同行があつたからこそできたのであります。部活動で体力を消耗しながらも両立された自己管理は、我等が学校、伝統を創るという使命感とロマンと強い精神力が支えとなり、さらに保護者の強力な援助を得てで

きたのだと思ひます。

昨今、不登校、中途退学、いじめ、ナイフ事件等凶悪な青少年の非行が大きな社会問題となつておりますが、二十数年を経て社会の環境や価値観も変化はしていても、皆が一致団結し、それぞれが目標と責任をもつて取り組んだ西高教育がなされればと歯がゆい思いが致しております。

今は何も彼も他力本願、責任転嫁とし、豊かさ故に何とかなるといふ安易さ、曖昧な先送り思考が、バブル崩壊を端緒とする経済不況や様々な問題を惹起しているのではないかと。金融業界のビックバンを始めとするグローバルスタンダード化が一層進展し、今後ますます自由競争が熾烈になつていくでしょう。現実には、甘えと似而非自主性尊重は大きな障壁となるものです。今こそ強くて、逞しく、社会に貢献する人材の育成が求められております。師弟同行、文武両道の伝統は今も脈々と引き継がれ、さらに高められていくことでしよう。

松山西高校及び同窓会の一層の発展と同窓会皆さんの益々のご健勝と弥栄を衷心より祈念申し上げます。

# 「西高に想う」



三期生 同窓会副会長

## 光田邦夫

西高が創設されて、はや二十五五年が経とうとしています。

三期生の我々にとつての目標は「先輩に負けるな」「他校に追いつけ追い越せ」をスローガンに諸先生の指導のもと、一生懸命努力していたことが思い出されます。

西高の校風とでも言うのでしようか、「西高生は自由がない」「補習授業が多い」「指導が厳しい」などと現在も言われている様ですが、当の本人たちは、さほど苦でもなく学生生活をすごしていたように思います。

私の独り善がりかもしれないが、学生生活において、ある程度の抑圧された環境は

必要であろうと思います。学校には学びにいらっているのであって、決して遊びにいらっているのではないからです。学生生活における自由とは、本人がその環境の中で作り出すものではないでしょうか、この校風が続く限り自分の娘も西高に入りたいと思います。が、親のエゴでしょうか。

現在縁あって同窓会のお手伝いをさせていただいていますが、同窓生約一万人のなかで最年長者でもまだ四十歳、まだまだ若い同窓会と言えましょう。

いろいろな批判はございましょうが、ひとつの意見として何って同窓会をますます発展させていきたいと思ひます。

本誌を御覧の皆さん、その友人の方々皆を巻き込んでよりよい同窓会を作っていくたいと思ひますので、同窓会活動への参加ならびに、役員としての参加をお願いいたします。

後進の指導をされている先生方、この昨今指導しにくい環境になってきていると思ひますが、校長先生の指揮の下「師弟同行」をモットーによりよい西高を創るためにご協力をお願いいたします。

### 平成9・10年度 部活動の主な成績

#### 【運動部】

部名	平成9年度 新人大会(愛媛県大会)の結果		平成10年度 愛媛県高等学校総合体育大会の結果	
	テニス	男 団体: 1回戦 個人S: 1回戦 個人W: 1回戦	女 団体: 1回戦 個人S: 1回戦 個人W: 1回戦	男 団体: 2回戦 個人: ベスト8
ソフトテニス	男 団体: ベスト6 個人: 2ペア1回戦 1ペア2回戦	女 団体: ベスト4 個人: 2ペア2回戦	男 団体: ベスト8 個人: ベスト6	女 団体: ベスト8 個人: 3回戦
卓球	男 団体: ベスト8 個人: 1回戦 山下	女 団体: ベスト16 個人: 1回戦 小玉、神浦	男 団体: 1回戦 個人S: 3回戦 山下 (四国大会出場) 四国大会: 山下0-2山浦(高松商業) 個人W: 3回戦 山下・河野組	女 団体: 2回戦 個人S: 3回戦 神浦 (四国大会出場) 四国大会: 神浦0-2北西(高松中央) 個人W: 3回戦 小玉・神浦組
	バレーボール	男 1回戦	女 1回戦	男 1回戦
バスケットボール	男 1回戦	女 1回戦	男 1回戦	女 1回戦
ハンドボール	男 1回戦	女 ベスト8	男 1回戦	女 1回戦
バドミントン	男 団体: 2回戦	女 団体: ベスト8	男 団体: 2回戦	女 団体: ベスト8
ラグビー	子選リーグ			